

宮崎県在京経営者会議だより

第15号

宮崎県在京経営者会議
発行責任者/高山弘憲
〒104-0084
東京都千代田区二番町5-7
JP本社ビル内
TEL.03-3265-2911
FAX.03-3265-1109

会長挨拶

宮崎県在京経営者会議

会長 高山弘憲



宮崎県在京経営者会議の会員の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

当会は今年度も会員相互や郷土経営者との親睦交流のほか、宮崎県の観光・物産などの産業支援、伝統文化の普及に向けて、愛郷心あふれる仲間と共に歩むことができました。

平成11年の設立以来18年目を迎える今年も、会員の皆さまの惜しみないご協力と、宮崎県や提携団体である宮崎産業活性化協会のご指導を得て、引き続き活動を継続できますことに衷心より御礼申し上げます。さて、私どもをとりまく

世界は、今年1月に米国で「アメリカ・フアースト」を掲げるトランプ政権が誕生、欧州でもポピュリズム政党が勢力を伸ばすなど、国際協調よりも自国の利益を優先する気運が高まっています。中国の海洋進出、北朝鮮の核開発など、東アジア情勢もきわめて不安定で、世界は大きな転機にさしかかっています。

私どもの身近な生活の場でも、モノとインターネットがつながるIoTやAI（人工知能）といった新しい技術が、世界を変えようとしています。宮崎空港でも人型ロボット「ペッパー君」が自走実験をはじめています。ペッパー君の日本語・英語による案内も楽しみではあります。やはり宮崎弁の案内も懐かしいものです。

これからの世界も、新しい技術の便利さと人間の心の温かさを両立させるものであつてほしいと思います。当会といたしましても、

故郷への貢献という心はそのまに、大きな時代の変化をおそれず、新しい時代に即した活動を続けていきたいと考えています。会員の皆さまのご協力と宮崎県、宮崎経済界のご指導を切にお願いいたします。ところであります。



宮崎県知事

河野俊嗣

知事挨拶

最後になりましたが、会員の皆様方のご隆盛とご多幸、ならびにご健勝を衷心より祈念いたしました。挨拶とさせていただきます。

宮崎県在京経営者会議の皆様におかれましては、「日本のひなた宮崎県」の首都圏での応援団として、本県の観光や物産の振興、本県

出身者への就職支援などに熱心に取り組んでいただくなど、日頃から温かい御支援、御協力を賜り、深く感謝申し上げます。さて、我が国は、本格的な人口減少社会の到来や不透明感を増す国際情勢など、時代の大きな転換点を迎えております。

このような中、昨年は、東九州自動車道の宮崎市から北九州市までの開通に代表される交通インフラの大きな前進、本格焼酎出荷量の2年連続日本一、宮崎キャビア1983の伊勢志摩サミットや日口首脳会談での提供など、本県にとつて長年にわたる取組の成果が現れた年となりました。

この流れを本県の地方創生の更なる加速化につなげるべく、県では、平成29年度に取り組みべき重点施策として、3つの施策を掲げました。一つ目が、若者の県外流出の抑制や、UIJターン

のさらなる促進や、持続可能な中山間地域の暮らしづくりなどに取り組む「人口減少対策と中山間地域対策の強化」。

二つ目が、世界農業遺産の積極的な活用や、東京オリンピック・パラリンピックや国民文化祭等を見据えた文化・スポーツの振興による「世界ブランドのみやざきづくりの推進」。

そして、三つ目が、中核企業の育成に向けたサポート体制の充実や、フードビジネスや医療機器関連産業の更なる振興など、本県の強みや特性を生かした「成長産業の育成加速化と新たな産業づくり」であります。

こうした取組をより効果的に進めるとともに、先人の努力への敬意と感謝を忘れることなく、皆様とともに、将来に夢や希望を持って地域づくりに全力で取り組んでまいりますので、一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

最後に、宮崎県在京経営者会議の更なる御発展と会員の皆様の御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げます。御挨拶いたします。

活性化協会会長挨拶

宮崎産業活性化協会

会長 米良充典



本年も、「宮崎県在京経営者会議だより」が発行されますことを、心よりお慶び申し上げます。

さて、年明け以降のわが国経済は、為替と株価の連動性が低下しており、各国における政情等の世界的な不安定要素により先の読めない状況が続いています。本県におきましては、2月には野球日本代表「侍ジャパン」をはじめとする多くのプロスポーツチームによる合宿が行われたことで県内外の交流人口が増加したり、ふるさと納税額に

おいても、全国一位を誇る都城市の他にも、各自自治体で大幅に増加する等、明るい話題も増えております。しかしながら、県内の中小企業における人手不足感が強まっており、今後大卒や高卒者の県内就職や

▽地元定着に向けて、人材確保に向けた取組みの強化が急務となっております。
在京経営者会議の皆様とは15年以上の長きにわたり交流致しておりますが、これまで「宮崎の郷土料理と本格焼酎を楽しむ会」を東京にて開催していただき、本県物産品の販路を拡大するビジネスチャンスの場を提供いただく等、本県経済の発展のために大きなお力添えをいただいております。
また、本年9月に宮城県

で行われる「第11回全国和牛能力共進会」では、宮崎牛の3連覇に向けて、産業団体や県、市町村が垣根を越えた総合体としてバックアップし、1次産業を軸にした農工商連携をより強固にさせることが必要であると考えております。ぜひ在京経営者会議の皆様におかれましては、多方面でのご支援、ご協力をいただければ幸いです。
今後、私ども宮崎産業活性化協会は、在京経営者

会議の皆様と一致団結し、積極的な事業展開を図ることにより、宮崎の更なる活性化の一助となるよう鋭意努力して参りたいと考えております。
最後になりましたが、在京経営者会議の益々のご発展と高山会長をはじめ會員の皆様のご活躍、ご健勝を祈念致しまして挨拶とさせていただきます。
本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

定期総会

第18回 定期総会報告

会議が、永年にわたり、觀光、物産、求人・求職、コンソーシアム

平成28年6月24日（金）、東京・千代田区隼町グラウンドアーク半蔵門で「第18回定期総会」が開催されました。

高山会長のあいさつのもと、総会の議事に入り、平成27年度事業報告並びに収支決算承認の件、平成28年度事業計画並びに収支予算案承認の件、規約改正及び役員改選の件の各議案も、原案どおり承認、可決されました。

また、宮崎県在京経営者

などの活動を通じて宮崎県に多大な貢献をしているとして、席上、河野俊嗣知事より、高山会長に感謝状が贈られました。
引き続き、来賓の河野知事、星野透宮崎県議会議長、赤木紀元宮崎産業活性化協会副会長のあいさつのもと、懇親会となり、参加者相互の交流・情報交換等で、更なる親睦を深めました。また、新会員紹介も行われました。



新会員紹介

● 趣 味 ゴルフ
● 事業内容 総合エンタテイメント企業グループの経営管理及びそれに附帯する業務

● 出身地 清武町

● 趣 味 ゴルフ

● 事業内容 輸出入販売、企業の海外進出支援、人材紹介、派遣

● 出身地 綾町

● 事業内容 ICTに関する、あらゆる問題や経営的課題に対し、高い技術力と豊富な経験から、最適な解決策を提案。また、クラウドの構築技術の導入支援

● 出身地 日南市

● 趣 味 相撲観戦、ゴルフ

● 事業内容 一般印刷（会社案内、冊子等）、シル印刷、UV印刷（iPhoneケース等）

● 出身地 日向市

● 趣 味 サーフイン、ゴルフ

● 事業内容 流通店舗に特化した不動産業、寝具の卸売および小売、生命保険、損害保険代理業

● 出身地 宮城県

● 趣 味 ゴルフ

● 出身地 日向市

● 事業内容 一般印刷（会社案内、冊子等）、シル印刷、UV印刷（iPhoneケース等）

● 出身地 日向市

● 趣 味 相撲観戦、ゴルフ

● 事業内容 一般印刷（会社案内、冊子等）、シル印刷、UV印刷（iPhoneケース等）

● 出身地 日向市

● 趣 味 サーフイン、ゴルフ

● 事業内容 流通店舗に特化した不動産業、寝具の卸売および小売、生命保険、損害保険代理業

● 出身地 日向市

● 趣 味 サーフイン、ゴルフ

● 事業内容 流通店舗に特化した不動産業、寝具の卸売および小売、生命保険、損害保険代理業

● 出身地 日向市



物産振興部会

第十五回 宮崎の本格焼酎と郷土料理を楽しむ会

宮崎県在京経営者会議主催、宮崎県、宮崎産業活性化協会、宮崎県酒造組合後援の「第15回宮崎の本格焼酎と郷土料理を楽しむ会」は、平成28年9月30日(金)、東京・千代田区九段のホテルグランドパレスで開催されました。

当日は、500人を超す多くの人で賑わいました。主催者を代表し、高山会長のあいさつのもと、来賓の河野俊嗣宮崎県知事、新森雄吾宮崎産業活性化協会副会長、渡邊眞一郎宮崎県酒造組合会長の祝辞がありました。

このあと、乾杯、会食、懇談となりました。会場には、ご協賛品として、宮崎産業活性化協会・より良き宮崎牛づくり対策協議会から宮崎牛、宮崎産業活性化協会・みやざき地頭鶏事業協同組合からみやざき地頭鶏(じとっこ)、J A宮崎経済連から宮崎県産の野菜はじめ、各会社から、ちりめん、おび天、ソフトドリンクが並び、宮崎県酒造組合各社からの本格焼酎に参加者は舌鼓を打っていました。

また、会場横には、物販ブース、観光ブースも設置しました。

会場では、アトラクションとして抽選会も行われ、当選者には県知事賞として宮崎牛(目録)、県東京事務所長賞として宮崎物産セット等が贈られました。

このほか、日南市出身の歌手Misacいさんが歌を披露、会場を盛り上げていただき、盛会のうちに終了。参加者は焼酎などのお土産を手に帰路につきました。



求人・求職相談部会

平成28年度 求人求職説明会

本年度「求人求職説明会」は、8月5日(金)にハリウッドビューティ専門学校5階ハリウッドホールにて開催をいたしました。今回は会員企業19社の採用担当の皆様のご参加をいただき、高校18校・大学1校の就職指導の教職員の方々と個別に面談が行われました。

宮崎県からは四本教育長、飯干学校政策課長、安田宮崎県商工会議所連合会事務局長、鈴木宮崎県東京事務所長にもご参加をいただきました。

昨年引き続き、今回も「宮崎に本社を持ち、東京に支社・支店を持つ」企業に働きかけを行い、「東京での数年間就業の後に宮崎の本社に帰る」ことを視野に、新たな企業にも多数ご参加をいただきました。説明会終了後には同校最上階の応接会議室にて恒例の懇親会を開き、焼酎を飲みながらの懇親が深められました。ご参加の各企業の皆様のお蔭をもちまして、東京のビジネス事情が学生に届けられ、彼らの将来の選択という大事な局面により良い情報を提供することができましたことを、心より御礼申し上げます。

しかし現在、国全体の問題として地方消滅の危機が叫ばれ、各県でも人口減少を防ぐために多岐にわたる

働きかけがなされている状況を迎えています。若者の県外流出防止が喫緊の課題であることは宮崎県においても同様ですが、宮崎では学生の県外就職率が全国でも高いことから、企業説明会をはじめとするイベントなど積極的な取り組みをなされているとのことです。

当求人求職説明会も、こうした状況に対応すべく、上記のようにUターン就業の選択肢などを提供すべく試みているところですが、今ひとつ進んだ取り組みの必要も感じています。宮崎の若者たちが魅力ある環境の中で明るい未来を選択してい

くために、会員の皆さまのお知恵なども拝借しながら時代が求める姿へと進化していければ何よりでございます。今後も多くの企業にご協力を賜り、この活動に対する皆様のご教示をいただけますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、猛暑のなかご参加・ご協力くださった会員企業並びに、関係企業の皆様方にあらためて深く御礼を申し上げます。



観光・ビジネス部会

第15回 宮崎観光・ビジネス交流会

「第15回宮崎観光・ビジネス交流会」は平成28年11月11日(金)〜11月13日(日)と「高原町・極楽温泉」をの日程で、小林市・高原町・宮崎市を訪問いたしました。

この度は、「フランス語に聞こえる西諸弁」で大変話題となった小林市の移住促進PRを受けて当会でも支援を表明したい、また、宮崎の観光地の中では今ひとつ知名度が高くない「温味深い史跡でした。



綾町ではこの綾城を素通りし、「照葉大吊り橋」だけを観光される旅行者が多いようですが、この日もほぼ独占状態で見学することができただけに、戦国時代の武将たちが天守から臨んだであろう広大な風景を満喫することができました。



その後、茅葺屋根の古民家と湖を擁した小皿料理をはじめた小林市の須木地区にある「すきむらんど」を訪問し、同市がポート競技をはじめとする水上スポーツの拠点として整備中の小野湖を見学しました。ふだん観光客は湖には入れませんが特別にポートを出していただき、ポート競技場の構想をお聞きしながら、湖上から「ままこ滝」や吊り橋、見事な紅葉の景色を楽しみことができました。昼食には茅葺屋根の古民家レストランにて、地元旬な食材を利用した9種類もの小皿料理をはじめ

た小林市の須木地区にある「すきむらんど」を訪問し、同市がポート競技をはじめとする水上スポーツの拠点として整備中の小野湖を見学しました。ふだん観光客は湖には入れませんが特別にポートを出していただき、ポート競技場の構想をお聞きしながら、湖上から「ままこ滝」や吊り橋、見事な紅葉の景色を楽しみことができました。昼食には茅葺屋根の古民家レストランにて、地元旬な食材を利用した9種類もの小皿料理をはじめ

めとしたヘルシーな昼食をいただきました。寒暖の差が激しいこの地区ではお米も野菜もとても美味しいのです。新鮮な食材と美しい景観と参加者の朗らかな笑顔によってより美味しく贅沢なご膳となりました。食事後には須木酒造に伺い焼酎の試飲と「須木栗」の試食をさせていただきます。意外なことにはブランド栗の焼き栗は甘みのある重めの焼酎の最高の「肴」であり、酒蔵見学をサポーター試飲・試食を続ける参加者もいたほどでした。





鉱泉と高濃度炭酸を擁するお風呂も、広々とした和風モダンな部屋も、清潔で趣味が良く、気持ち良く過ごすことができました。炭酸温泉は炭酸ガスの血管拡張作用によって血流が促進され循環器系疾患の症状が緩和される、関節痛の緩和にも効果があるなどと近ごろ人気ですが、高原町の炭酸泉は濃度も高く知る人ぞ知る名湯でサッカー本田選手なども訪れたそうです。高千穂・日南など横綱級の観光地の陰にひっそりと湧

く、まさに秘湯の素晴らしき温泉なのです。さて、そんな素晴らしい温泉を十分に堪能したと言いきれなかったのは、ひとえに高原町長主催の歓迎会の楽しさのせいでした。高原町の日高町長の楽しいお話は、最後には駄洒落の連発で笑い声の絶えない歓迎会となり、宮崎の「人の素晴らしさ」「故郷の温かさ」が素晴らしい場所であり、活性化への熱意が込められた皆さんの取り組みも接することができました。

増えること」も大事なことです。こうして活動を通じて若者たちがふだん何気なく暮らしている故郷の素晴らしさに気付き、自分たちの力で活性化させたい、と、心を奮い立たせる機会となったことが何より嬉しく、また最もよい形で地方創生がなされることを信じている時間となりました。その後、全国大会の優勝常連校である同校の新体操部の練習を見学しましたが、練習にも拘らず全力で力を出し切る真摯さに心を打たれ、跳躍・回転などそのレベルの高さに驚きました。

訪問を終えて向った高原町の極楽温泉「匠の宿」は、玄関先に大きな水車が回り露天風呂からは高千穂峰を臨む趣のある宿で、飴色の

夕刻は恒例の「ビジネス交流会」を開催いただき、知事や商工会議所会頭など、宮崎政財界の皆さまと有意義な交流をすることができました。

今回の旅は、宮崎の観光地としては有名ではない場所への訪問でしたが、それぞれが素晴らしい場所であり、活性化への熱意が込められた皆さんの取り組みも接することができました。

翌日は、神武天皇ご生誕の地に創建された狭野神社、霧島六権現の一つである東霧島神社に参拝し、青島神社と亜熱帯植物園を経由して宮崎市內に入りまし



各訪問地の皆さまが格別のおもてなしで迎えてくださるこの旅は、会員の皆さまにとっても特別の思い出となることと思います。どうか来年も多数のご出席を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年 新年賀詞交換会

「平成29年新年賀詞交換会」が、平成29年1月27日（金）、東京・千代田区隼町のグランドアーク半蔵門で開かれました。山中祥弘副会長の挨拶のあと、来賓の河野俊嗣宮崎県知事、星原透宮崎県議会議長の挨拶があり、乾杯。約60人の出席者が親睦を深めました。

